

部局名	安全環境部	所属名	清掃センター	所属長名	笠川 博明	電 話	483-4521
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3937		事務事業名称	一般廃棄物処理施設周辺環境対策事業					短縮コード	経常		臨時	3937
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市一般廃棄物処理施設周辺環境事業補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
遮水シートの破損に伴う周辺地域の地下水汚染が懸念された為、八千代市一般廃棄物処理施設周辺環境対策事業補助金交付要綱に基づき、井戸水から市営水道に切替工事に掛る費用の一部を補助する事業である。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
市営水道への切替実施者が増加する。					大項目（節）	03	環境・衛生						
					中 項 目	02	ごみ処理						
					小項目（施策）	02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進						
					細 項 目	02	焼却施設等の整備						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	最終処分場周辺（上高野及び村上の一部）で平成14年4月1日時点で市営水道へ未接続で、屋内の生活用水を市営水道へ切換えを行う世帯。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 申請者から申請書と給水装置の申込書、工事に係わる図面、工事施工業者の見積もりを提出してもらい、水道局の積算と工事施工業者の見積を比較して、工事費が安価な方の9／10を市で負担する。							
	※平成20年度に計画していること： 同上							
意図 （何を狙っているのか）	最終処分場の遮水シートの破損に伴い、地下水への影響が懸念された為、生活用水を市営水道に切り替えることで「地域住民等の生活環境の安全の確保」を図ることが出来る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	屋内の生活用水を市営水道へ切換えを行う世帯	世帯	104	102	102	102	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	補助金申請件数	件	2	5	0	3	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	補助金交付件数	件	2	5	0	5	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3937	事務事業名称	一般廃棄物処理施設周辺環境対策事業		所属名	清掃センター
			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
				実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	625	1, 800	0	1, 080
		その他	千円				
	主な事業費の内訳		補助金 625千円	補助金 1, 800千円	補助金 0千円	補助金 1, 080千円	
	人件費 (B)		千円	18, 273. 6	18, 248. 4	18, 413. 7	18, 413. 7
トータルコスト (A) + (B)		千円	18, 898. 6	20, 048. 4	18, 413. 7	19, 493. 7	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「環境に配慮した適正なごみ処理」を実施するため、遮水シートの破損による処分場周辺の地下水汚染が懸念され、処分場の改修工事を実施中である。この改修工事が完了するまでの間生活用水を市営水道への切換に掛る費用の一部を補助する事業をであり、上位施策と結び付いている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		今後とも廃棄物処理施設周辺環境対策は継続していく必要である。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業の性格上（補助金の交付）民営化になじまない				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		所期目的の変更はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		補助事業としては年々縮小しており，現職員での対応が可能です。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等							
		☐ 臨時的任用職員等の活用							
		☐ I T 化等業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
		☐ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)		
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある						
	☐ ない								

コード	3937	事務事業名称	一般廃棄物処理施設周辺環境対策事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続					処理件数が少ないため、現職員での対応が可能なため。	
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
		☐ 廃止						
		☐ 休止						
		☒ 現状のまま継続						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			交付対象世帯の全ての切替が完了するまでは不変の予定。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし	

所属長コメント	最終処分場恒久対策工事が終了するまでは必要な事業である。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	